

4年	科目	ドイツ語 I	講義	通年	担当	杉山 和子 SUGIYAMA Kazuko
制御情報工学科		German I	必修	2履修単位		
授業の概要						
ヨーロッパ中央に位置するドイツは近・現代史において政治的・文化的に大きな役割を果たしてきた。現在ではEUの経済の中心地であり、多くの企業はヨーロッパでの企業活動の拠点をドイツに置く。ドイツ語はドイツ・スイス・オーストリアの主要言語であり、その他のヨーロッパ諸国の中等教育では第2外国語として広く学習される国際語である。ドイツ語には現在の英語では消失したゲルマン語文法規則が残るため、英語並びに他のヨーロッパ諸言語を習得・理解する基礎となり得る。またドイツには紀元前より続くヨーロッパ文明の伝統が今なお日々の生活に息づき、日本やアメリカとは異なる慣習・考え方は示唆深い。ドイツ語の学習を通じてドイツ・ヨーロッパ文化を学ぶ。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標(プログラム対象科目のみ)	D. コミュニケーション能力を備え、国際的に発信し、活躍できる能力					
実践指針(専攻科のみ)						
授業目標						
ドイツ語初級文法前半と後半の一部を学ぶ。半年後にドイツ語技能検定試験5級、1年後にドイツ後技能検定試験4級を取得できる程度の語学力をつけることを目標とする。ドイツの日常生活を学び、ドイツ文化・ヨーロッパ文化を知り、それとの比較において日本文化・日本人の考え方を客観的に見る見方を養う。						
授業計画						
第1回	オリエンテーション	授業概要・目標、評価方法と基準等の説明。ドイツ語の歴史とドイツ。アルファベット。				
第2回	Lektion 1	アルファベット、母音の発音と自己紹介。				
第3回	Lektion 1	子音の発音。動詞の人称変化。数字。				
第4回	Lektion 1	動詞の現在人称変化(du,ihrなし)、語順、疑問詞。				
第5回	Lektion 2	名詞の性。定冠詞と不定冠詞の1格、4格。				
第6回	Lektion 2	道案内。				
第7回	Lektion 2	道案内と本文。				
第8回	前期中間試験					
第9回	Lektion 3	Sieとdu。動詞の命令形。				
第10回	Lektion 3	動詞の人称変化と不規則動詞 I。				
第11回	Lektion 3	本文。				
第12回	Lektion 4	動詞の不規則変化 II。				
第13回	Lektion 4	分離動詞。				
第14回	Lektion 4	定冠詞型の冠詞。				
第15回	ドイツ文化	ドイツの現在について。				
	前期末試験					
第16回	ドイツ語検定案内	ドイツ語技能検定試験5級の過去問題を解いてみる。				
第17回	Lektion 5	数字の復習、時刻の言い方。				
第18回	Lektion 5	名詞の2格と3格。前置詞。				
第19回	Lektion 5	人称代名詞。				
第20回	Lektion 6	話法の助動詞。				
第21回	Lektion 6	話法の助動詞。				
第22回	Lektion 6	本文。				
第23回	ドイツ現代史	ナチズム、冷戦、ベルリンの壁、ドイツ再統一。				
第24回	後期中間試験					
第25回	Lektion 7	形容詞の語尾と形容詞の名詞化。				
第26回	Lektion 7	形容詞(と副詞)の比較級、最上級。				
第27回	ドイツ文化	ドイツのクリスマス				
第28回	Lektion 7	本文と様々な疑問文。				
第29回	Lektion 8	動詞の3基本形。				
第30回	Lektion 8	現在完了と受動態。				
第31回	Lektion 8	本文。Lektion 9～Lektion 10の案内。				
	学年末試験					
第32回	ドイツ語検定案内	学年末試験答案返却。ドイツ語技能検定試験4級の過去問題を解いてみる。				
評価方法と基準	原則として前・後期の中間・期末試験、各4回の試験の平均点で評価(それぞれ25%)。ただし、授業中の課題提出、授業態度の状況により減点することがある(評価の10%以内)。成績不振者には、特別課題レポートを加味して評価することがある。					
教科書等	ハロー・ミュンヘン・ノイ(関ロー郎、白水社) ドイツの文化・日常生活を紹介したビデオ等も随時、授業中に参照する。					
備考	関連サイト: 東京ドイツ文化センター http://www.goethe.de/tokyo/ ドイチェ・ヴェレ http://www.dw.de/ 1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					